

犬山総合高校との意見交換会 フィードバック

【概要】

- 日時 令和7年10月31日（金）午前9時50分～午前10時40分
- 会場 犬山総合高校
- 対象 3年（3B-1）

【発言項目】

- 課題テーマ1 「暮らしたいまちって？」

- 内容

暮らしたいまちにするために、「観光客を増やすロープウェイ」「公共交通を活用した商業施設を回る仕組み」「楽しめる場の提供」の3つを提案する。

犬山城から犬山遊園をロープウェイでつなぎ、木曽川の景色を活かした観光の実現が中心となり、観光客の増加によって地域人口や商業施設の活性化につながると期待している。

当初はバス便を増やす案を考えていたが、ロープウェイが夢ではなく実現可能な計画であると思っている。

【議員からのフィードバック】

暮らしたい町を考えるときに、「移動」に着目されたことや、運転者不足に着目されたことは、しっかり課題を捉えられていると感じました。

また、ロープウェイという大変夢のある移動手段を提案されたことは、ピンチをチャンスに変える重要な発想だと思います。発表でもありましたように都市型ロープウェイは既に横浜みなどみらいで実績があり、自走式ロープウェイが自治体協力で開発を進められています。産業の活性化も重要です。犬山市に行きたいところがあって移動が生れます。観光で木曽川河畔にも眼を向けられました。私たちも、まさに木曽川河畔の有効活用が新たな展望につながると考えています。3つの視点で好循環を考えられたことは大変素晴らしいと思います。皆様の提言をうかがい、どうしたら夢のある、楽しいまちづくりができるのか、研究してまいりたいと思いますので、皆様もどうしたら実現できるのか、考えていただけすると幸いです。

犬山総合高校との意見交換会 フィードバック

【概要】

- 日時 令和7年10月31日（金）午前9時50分～午前10時40分
- 会場 犬山総合高校
- 対象 3年（3B-1）

【発言項目】

- 課題テーマ2 「地域ブランドをつくろう！」

○内容

犬山の竹あかりを活用して、夜も賑わうデートスポット「恋灯る犬山」を提案する。

犬山遊園駅近くの木曽川沿いにハート型やトンネル状の竹あかりを設置し、映えスポットやフォトエリアを提供。カップルや若者を中心に、夜まで人々を滞在させることを目的とし、竹あかりの製作体験を通じて来場者が作品を追加することで、エリアがさらに魅力的に広がる仕組みを提案。

また、小学生にも制作に参加してもらい、地域全体で取り組みを盛り上げることを目指す。

【議員からのフィードバック】

竹あかりは全国各地で行われている中で、高校生の目線からのアイデアが良かったと思います。大事なのは民間から色んな取り組みをしていくことだと思います。今回の取組をせっかく考えたのであれば、是非実行に移していくことで、ただ授業の一環ではなく、小さな竹あかりからいつか、木曽川沿いに大きく広げていくきっかけになつたら嬉しいです。

犬山総合高校との意見交換会 フィードバック

【概要】

- 日時 令和7年10月31日（金）午前9時50分～午前10時40分
- 会場 犬山総合高校
- 対象 3年（3B—1）

【発言項目】

- 課題テーマ3 「みんながつながるまちって？」

○内容

現在の課題として、高齢者や近所の人々との繋がりの減少があると考える。趣味や関心が特定の領域に偏り、地域との関係が薄れている状況を改善するためのアイデアとして、学校祭を活用した取り組みが提案する。

具体的には、低価格の屋台やハンドメイドの店舗を設けて地域住民を集め、交流を増やすことが目指す。

また、中学生や働く人も参加しやすくするために、金曜日と土曜日に開催する。

こうしたイベントを学校や大学で行うことで、多くの人が興味を示し、地域の人々の繋がりが促進されると期待する。

【議員からのフィードバック】

SNSで繋がる趣味友や、同世代との繋がりでは、見識も広がりにくいことと合わせ、地域での繋がりが希薄化していることを危惧して、世代や国籍を超えたイベントを開催しようと考えるのは大変素晴らしいと思います。しかし、既に犬山市内各地でも地域交流イベントや多国籍交流イベントなども行われています。こうした企画を数多く行っていても、なかなか高校生などの若者にまで届いていないという実情も痛切に感じました。皆さんのが発案していた、高校祭を地域に広げたイベントへと昇華出来れば、解決の糸口となるとも思いますので、是非とも開催して頂けることを期待しています！

犬山総合高校との意見交換会 フィードバック

【概要】

- 日時 令和7年10月31日（金）午前9時50分～午前10時40分
- 会場 犬山総合高校
- 対象 3年（3B—1）

【発言項目】

- 課題テーマ4 「脱炭素」
- 内容

雷を利用した核融合発電やNTTの落雷誘導技術との協力を検討したが、技術的課題から実現が難しいと判断した。そこで、現実的な案として、地域課題の放置竹林を活用した竹製マイボトルを低価格で販売し、市内の公共施設に無料給水機を設置する取り組みを提案する。ペットボトル消費を減らし脱炭素に貢献することを狙い、無印良品の成功例を参考に、公共施設に限定して実施することで、衛生面や設備投資の課題にも配慮した。この活動は将来的にペットボトル生産量削減に繋がる考えている。

【議員からのフィードバック】

「脱炭素」は、世界の国々が目標を持ち、取り組んでいる重要な施策です。

今回、犬山は雷の多い地域であるということから「雷を電力として活用する方法」について調べられました。

残念ながらそれを裏付けるデータはないそうですが、1977年に入鹿池湖畔で誘雷実験をしたり、くしくもちょうど40年後の2017年に犬山城の鯱鉾が雷で吹き飛ばされた事実があるので、犬山の高校生として雷に目をつけたのは鋭い着眼点であると思います。

今回、雷はプラズマの一種で、核融合で生まれるのもプラズマという事で共通している部分があることも高校生から教えられました。

隣の土岐市に核融合研究施設がありますが、核融合で夢のエネルギー源を探っていることを知るのは、高校生にとって素晴らしい体験であると思いますので、是非この研究所も見学していただきたいです。

また、雷のエネルギーの活用以外にも、竹製マイボトルを作る発想は興味深いと感じました。

毎回、高校生の皆さんとの意見交換は刺激的で素晴らしい時間を頂いたと感じています。

犬山総合高校との意見交換会 フィードバック

【概要】

- 日時 令和7年10月31日（金）午前9時50分～午前10時40分
- 会場 犬山総合高校
- 対象 3年（3B—1）

【発言項目】

- 課題テーマ5 「人口減少（少子化）」
- 内容

犬山市の魅力をさらに高めるため、小学校や中学校の統合によって浮いた資金を城下町に投資し、観光を活性化させるアイデアを提案する。具体的には、花火の開催日数の増加やお店の営業時間延長、1日中楽しめる施設の設置、イベントの開催などが含まれ、これにより観光客の増加や宿泊者の増加を目指し、最終的には移住者を増やすことを目標とする。

【議員からのフィードバック】

人口減少というテーマを前向きに捉え、「学校統合などで生まれたお金を観光に活用する」という視点が素晴らしいと思いました。また、城下町の魅力を高めるための具体的な施策がしっかりと考えられており、観光を発展させることで、「移住者を増やしていく」ことに繋がっていくと感じました。今回いただいた提案を受け止めながら、今後の「人口減少」について考えてまいります。